

## ◇学校運営協議会 第1回 平成30年8月28日 18:00~20:30

○日 時 平成30年8月28日(木) 午後6時~午後8時30分

○場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室(本館2F)

○テーマ ・学校運営協議会の実施要項と運営について  
・平成30年度学校経営計画について

○出席者(敬称略、委員は50音順)

古賀 千枝子 本校PTA 会長

島田 雅弘 吹田市立片山中学校 校長

土井 実 鳳志会(本校同窓会) 副会長

林 宏昭 関西大学経済学部 教授

前田 武男 千一地区連合自治会

村田 徹 大阪薫英女学院中学校・高等学校 校長

眞鍋 眞 本校 校長

○事務局

手島 肇(教頭)、井上 薫(事務長)、磯原 健志(首席)、門野 正太(首席)

○議事

- ・学校運営協議会の実施について(実施概要確認及び会長・副会長の互選)
- ・学校経営計画の承認
- ・教科書選定・採択の承認
- ・意見交換(ブロック塀改修にかかる要望等)

○委員から出された主な意見

- ・教職員の業務のスクラップ&ビルドは中学校でも大きな話題になっている。また、朝の時間の使い方も良く似ていて、朝の学習(朝ガク)が定着してからは、朝の読書(朝読)に切り替えた。
- ・進学クラスの改変については、学校が言われるように、1年間はしっかりと馴れた上で自分の意志で選ぶ方が良くかもしれない。そういう意味では、2年生からのクラスも良いのではないか。
- ・進学クラスを立ち上げて実績を上げだしているもので、このまま継続して欲しい。学校側の体制でマイナーチェンジはあると思うが、進学を希望する生徒の受け皿として意欲のある生徒を引っ張り上げて欲しい。変更点があるのであれば、現状ではここが不都合であるなど、数値等を示すなどの説得力ある説明が必要ではないか。
- ・高校生活の3年間を記録しておく「e-ポートフォリオ」や英語の外部試験を受けさせる件など大学入試の改革が進んでいるが、高校側はどのように受け止めているのか気になるところです。配慮を必要な生徒への特別支援計画なども含めて、今後も情報を共有しながら、協力を

お願いしたい。

- 学校経営計画は中期的な目標を向こう3年間見据えて書いておられるが、大きな変化の時代に、途中での見直しの余地はあるのか。30年度から3カ年の期間設定、時代の変化に対応するためにも途中の変更も必要になることもあるのではないか。
- 学校経営計画の中期目標は、3年間がスパンになっているので、入学した生徒が3年間後にこうなってほしい姿を示すという解釈で良いのか。
- ブロック塀の改修には、土の漏れないフェンスにしていきたい。
- ブロック塀の改修に関しては、(娘を持つ親としては) 体育や水泳の授業もあり盗撮等への対策から目隠しフェンスを要望したい。
- アルバイトしている生徒の人数を把握し、遅刻の原因になっていないか影響を慎重に調査してはどうか。
- 多様な生徒がいるなかで、先生方が本当に熱心に指導されていて、よい信頼関係があるので、有難いと感じている。
- 近隣に住んでいて吹田高校の変遷を見ているが、この10年間は随分と良い方向に変わったので、指導にあられた教員の方々に改めて敬意を表す。将来は何になるのかという意識を強く持って、今後さらに当高校に通う意義を高められるご指導をしていただきたい。
- ダンス部に自治会のイベントに参加いただき好評だった。披露したいという意欲のため場として活用いただければありがたいし、積極的なタイアップしていければと思うので、ダンス部に限らず今後も御協力お願いしたい。